

平成24年度事業報告書

平成24年6月1日から平成25年5月31日まで

特定非営利活動法人 竹の学校

1 事業の成果

NPO法人として5年が経過して、会員の高齢化・世代交代等の課題はあるが、放置竹林整備作業、伐採竹の有効活用を通じ、長岡京市の竹林美化活動とその啓発活動に寄与することができた。

また今年は特に、NHKのTV放映の取材に協力、美しい長岡京の竹林を「竹林は丹精込めた光の空間」と表現して頂き、手間を掛けて維持している管理竹林(タケノコ畑)の美しさと、それを守る放置竹林整備のボランティア活動も紹介頂き、長岡京の美しい竹林とその維持活動を日本中に知ってもらえることが出来た。

2 事業の実施に関する事項

【特定非営利活動に係る事業】

① 事業名 放置竹林整備事業

実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲・人数	事業費の金額(概算)
毎水・土曜日 9時~12時	長岡京市長法寺竹林、 野山竹林及び金ヶ原竹林	延べ275名	企業 34名	135千円
事業内容	<p>【目的】 放置竹林を整備し、タケノコ畑を再生、水資源の涵養、竹林の環境美化活動及び竹の有効利用。</p> <p>【内容】 定期活動日に放置竹林に入り、枯れ竹を集め焼却し、間伐作業を実施。竹藪の整備を実施し、環境美化を行った。活動拠点周辺の地元地主の竹林も枯れ竹処理等を実施した。 さらに野山竹林は地主、企業と竹の学校が協力して青竹を節電対策用に活用する取り組みを実施し竹220本提供した。今年から金ヶ原竹林も着手して枯れ竹の処理が終わった。 竹の有効活用として、移動式炭化炉で竹炭(135kg)を作りサンプル提供を実施し利用拡大を模索した。さらに野焼した炭を5~8mmに粉碎して、有機栽培農業の土の改良用に利用の拡大を検討した。</p> <p>【活動の成果と課題】 放置竹林整備面積も11.2万㎡になり、水資源の涵養にも寄与し、周辺の環境美化ができ、地主様、住民より感謝されている。 現在、作業者の高齢化のため、会員の若返りをして活動の継続化をして行くことが課題。 企業のボランティアの参加しやすい動機づくりを長岡京市役所と考えてゆきたい。 竹を焼却処理だけでなく、竹の有効活用する方法を検討してゆく。</p>			